広報津 TSU

■新年のごあいさつ ……P2
■市長新春対談 ……P4
■新 津市10年の歩み ……P8
■津市長が選ぶ 平成27年市政の10大ニュース …P14
■新春市民インタビュー ……P16
■市長コラム・活動日記から ……P20

広告掲載欄

税理士法人 心
相続・会社設立・税務顧問・税務申告・税務調査 他
税理士 西尾 清 <名古屋> 西尾 有司 <東 海> 森田 清則 <名古屋> 斎藤 美淳 <東 海>
寺井 渉 <東 海> 竹村 理紗 <名古屋> 上田 佳孝 <名古屋> 小島隆太郎 <名古屋>
津駅税理士事務所 <東海> 津駅0.5分
松阪駅税理士事務所 <東海> 松阪駅1分
本部 <名古屋> 名古屋駅2分
※主たる事務所は名古屋税理士会所属 ※< >内は、各所属税理士会・弁護士会・社会保険労務士会・司法書士会名です

心グループでは企業様をトータルサポート！
弁護士法人心 <愛知県・三重・岐阜県・東京> (株)心経営 Kokoro Management Corporation 広告
社会保険労務士法人心 <愛知県・岐阜県> 司法書士事務所心 司法書士和田聡美<愛知県> (株)心保険

心グループ一丸となってサポートいたします！
総合受付 夜間・土日相談可(要予約) 平日9時～22時受付
0120-145-345 詳細は http://kokoro.ac

市財政収入の一部に寄与することを目的とし、表紙に広告を掲載しています。なお、掲載している広告内容については津市が保証しているものではありません。

2016 平成28年 1/1 No.241

新年のごあいさつ

新津市誕生10周年を迎えて

津市長　前葉 泰幸

あけましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

ちょうど10年前の平成18年１月１日、平成の大合併の中でも、津市、久居市、河芸町、芸濃町、美里村、安濃町、香良洲町、一志町、白山町、美杉村の10市町村による大きな合併でスタートした新「津市」。

誕生10周年を迎えた今、これまでのまちの成長を振り返りますとともに、合併を決断された誇り高き先人たちの苦労や努力に思いをはせますと、感慨深いものがあります。

４大プロジェクトとして進めてきました新斎場「いつくしみの杜（もり）」は、昨年１月に業務を開始しました。新最終処分場・リサイクルセンターは今年の４月から供用を開始し、ＪＲ名松線はこの春に全線復旧します。産業・スポーツセンターは槌音が響き、その大きな姿を見せ始めています。

津市の大動脈の一つである中勢バイパスは、河芸町三行から木造町まで開通し、車の流れが大きく変わりました。地域活性化の拠点となる道の駅津かわげも、今年の4月24日の開駅に向けた整備が着実に進んでいます。

合併時に描かれた津市のまちづくりは、この10年間でほぼめどがついてきました。これからも合併により実現した効率的な組織と健全な財政のもと、より充実した市民サービスを提供してまいります。地方創生にもしっかりとした戦略を持って取り組み、さらには、10周年を迎えた記念すべきこの年に、伊勢志摩サミットが開催されるという絶好の機会を逃すことなく、国内外に津市の魅力を発信していきます。

これまでの歩みを礎に、津市の明るい未来へと続く、市民の皆さまの「もっと津をいいまちに」という期待に応えるまちづくりを進めてまいります。

皆さまにとって、本年が、希望に満ちた年となりますことをお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

地域活性化に向け全力投球

津市議会

新年を迎え、謹んでごあいさつを申し上げます。

昨年は吉田沙保里選手がレスリング世界大会で16連覇を達成し、津商業高校野球部が夏の甲子園に出場するなど、津市にゆかりのある皆さまが私たちにたくさんの勇気と感動を与えてくれました。選手の皆さまにおかれましては、さらなる高みに向け、ますますのご活躍を願っております。

さて、本年、津市は合併10周年を迎え、津市の４大プロジェクトについては、昨年、新斎場「いつくしみの杜」が業務を開始し、新最終処分場・リサイクルセンターおよびJR名松線の全線運行再開は、それぞれ今春のスタートに向け、また産業・スポーツセンターも完成・供用に向け着実に進んでいます。

一方、国においては、将来にわたって活力ある日本社会を維持するため、人口減少の克服と地方創生を併せて行う「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、多様な主体の参画などによる地域の活性化を目指しており、それぞれの地方公共団体において地域の特色を生かし、自律的で持続的な社会の形成を求めています。

津市議会においては、津市総合計画をはじめとして、さまざまな計画や事業について議論を行ってまいりましたが、これまで以上に市民の皆さまが安心して暮らせるよう、今まで積み重ねてきた議論をさらに深めるとともに、社会情勢の変化や皆さまからいただくさまざまなご意見を真摯（しんし）に受け止め、津市の今後のまちづくりや地域の活性化に向けて、全力を尽くしてまいります。

また、夏に行われる参議院選挙から、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられます。津市議会はこれまで、議会映像のインターネット配信、傍聴席における手話通訳などを行ってまいりましたが、今後ますます議会が若い世代の皆さまをはじめ、市民の皆さまの身近なもの、開かれたものとなるよう取り組んでまいります。

本年が市民の皆さまにとって、素晴らしい年であることを心よりお祈り申し上げます。

市本庁舎屋上から望む朝日（西丸之内）

市長新春対談

～フランス共和国・オヨナ地域との地域経済交流について～

オヨナ地域経済ミッション団団長
フィリップ・トゥルニエ ビリョンさん

津市長 前葉 泰幸

対談場所　シャトー ラ・バルム・ドール／あのつ台五丁目

平成27年10月26日、フランス・オヨナ地域経済ミッション団団長のフィリップ・トゥルニエ ビリョンさんをお迎えし、オヨナ市と津市の地域経済交流の展開や企業連携について、前葉泰幸市長がお話を伺いました。
対談は英語で行われましたが、日本語訳でお届けします。

市長　ようこそ津市にお越しくださいました。津市の第一印象はいかがですか。

ビリョン　車窓から山々の景色を眺めながら津市に到着すると、今度は、広大な土地に目を奪われました。ここには自由な都市構想の可能性が広がっています。

市長　津市の土地にまず目を向けていただいたことは、うれしい限りです。そうなのです。工場や農場の用地として、あるいは、福祉施設や病院用地として利活用するなど、津市の広大な土地は将来に向けて無限の可能性を持っています。ビリョン氏はこの津市の土地でどんなことをしてみたいと思いますか？

ビリョン　そうですね、フランスの会社に工場でも建ててもらいたいですね。

市長　それはいいですね。津市にはすでに何社か外資系企業が進出していますが、相互投資となる可能性も含まれています。ヨーロッパ系企業を誘致するだけでなく、我々日系企業もフランスに進出したいと考えます。それこそが数年来津市が力を入れている取り組みなのです。そのた

めにも、まずは相互理解が重要です。ぜひ、オヨナ市についてお聞かせください。

ビリョン　オヨナ市は美しい自然に囲まれ、湖が豊富な人口５万人の小さな市です。一方で、1,000以上もの企業がある非常に活力のある市でもあります。特にプラスチック産業が盛んで、日用品から特殊加工品までを出荷しています。

市長　重要な産業をお持ちなのですね。さて、ビリョン氏は今回の経済ミッション団の団長であるとともに、トゥルニエ ビリョン社の最高経営責任者ですが、同社はどのような製品を作られているのですか。

ビリョン　トゥルニエ ビリョン社は長い伝統を代々受け継ぐ家族経営の会社で、1892年から櫛（くし）などのヘアアクセサリーを製造しています。

市長　120年以上も続く老舗企業なのですね。なぜ、オヨナ市ではプラスチック産業が盛んになったのでしょうか。

ビリョン　西暦600年頃、スイス・ジュネーブに美しい王女がいました。フランス国王はその王女を息子の后（きさき）として迎える交渉をするため、使節団を送りました。しかし、その途中で馬車のかごが壊れ、使節団長が怪我（けが）を負ってしまうのですが、オヨナの住民が手当てして乗り物を修理しました。オヨナの冬は長く厳しく、当時の人々は地元の木材から櫛を作り生計を立てていました。フランス国王は使節団を助けてくれたことに感謝の意を表して、オヨナの村で作られた櫛をフランス国御用達の品として納める特権を

与えたのです。

市長　とても興味深いお話で感銘を受けました。なぜ、ビリョン氏が御社の長い歴史をたたえられているのかが分かりました。先祖代々で築き上げられてきたものなのですね。

ビリョン　その後、私たちの挑戦は櫛を作ることだけにとどまらず、現在は飛行機の部品や家屋の材料、日用品なども作っています。プラスチック産業は人々の生活にとって、欠かせないものへと成長しました。今日は実際にオヨナで作られたプラスチック製品を持ってきましたので、ぜひ手にとってご覧ください。

市長　髪飾りですね。手作りに思えないほど精密で美しいですね。

ビリョン　手作業によって500個以上のストーンが埋め込まれています。この作業には、高い技術が必要なのです。

Mr. Philippe TOURNIER BILLON

オヨナ地域経済ミッション団団長 フィリップ・トゥルニエ ビリョン

TOURNIER BILLON（櫛製造会社）代表取締役。現在、オヨナ市産業振興顧問、オヨナ地域経済委員会委員長、アン県商工会議所委員（国際ビジネス担当）を務める。

市長　高度な技術を持つ職人がいらっしゃるのですね。伝統だけではなく、最先端技術の発展にも力を注いでいることがとても分かります。

ビリョン　私たちは、古き良き伝統と現代のレーザー切断や印刷技術とのイノベーションを行っています。実は日本でも1979(昭和54)年から販売しているのです。

市長　30年以上も前から日本とつながりがあるのですね。さて、先ほどイノベーションについてお話しされましたが、それこそが今回の対談の重要なポイントです。

　これまで長年培ってきた技術、それこそがイノベーションであると思います。津市にも長い歴史だけでなく、先端技術を誇る中小企業が多くありますので、相互の高い技術を生かし、連携すれば、素晴らしいものづくりが可能だと思いませんか？

ビリョン　そのとおりですね。１＋１＝２ではなく３にもなり得ます。そのようなチームワークの力を私は信じています。

市長　まさにチームワークですね。今回の経済ミッション団の団長として、津・オヨナ産業連携のための提案はありますか？

ビリョン　市内の企業を視察させていただきましたが、帰国後まず、このミッションで津市の情報や高い技術力のある企業が数多くあることを、オヨナの企業に伝えたいと思います。相互に連携し、一緒に研究プロジェクトを立ち上げるなど、

多様な可能性が広がっていると思います。ビジネス的価値観や倫理的価値観を共有し、同じバックグラウンドを持つことは、ビジネスをする上で非常に重要なことであると考えます。

市長　私自身フランスの企業で働いていた経験がありますのでとてもよく分かります。私たちが同じ価値観を持っているとおっしゃっていただきとても光栄です。日本とフランスという２国が協力し合うためには、事前にお互いを知ることが大切ですね。津市からオヨナ市へ、そして今回のようにオヨナ市から津市へと相互に訪問することはお互いを理解し合うための貴重な機会になるかと思います。津市滞在中に企業を視察される予定ですが、何か興味を持たれていることやご覧になりたいものなどはありますか？

ビリョン　今回、準備いただいた企業訪問プログラムは、器具やプラスチック製造業、金属加工業など多岐にわたりますが、それらはフランスが貿易相手として必要としている分野でもありますので、まずは長期的な視野に立ち、私たちがお互いのことをよく理解した上で、各々の企業が関心を持ち、さらにアイデアを改良できると考えています。

　津市の代表団がオヨナ市に来てくださったことが私たちの第一歩であり、そして今回の視察が二歩目となりました。未来は私たちのものです。

市長　今回の津市訪問がオヨナと津の企業間のさらなる発展につながっていくことを願っています。こういった産業交流は３年ほど前にローヌ・アルプ地域圏へ津市がミッション団を派遣したことがきっかけでした。オヨナ・津ともにお互いを知る機会はたくさんあると思いますし、相互理解が大切です。一方に依存するのではなく、共に歩む「イコール・パートナーシップ」の視点を持つことが重要であると信じています。

ビリョン　パートナーシップとは、平等でお互いにとって利益があることを意味します。つまり「win-win」の関係ということですね。

市長　これからも一緒に「win-win」の関係を築き上げましょう。最後に津市民へのメッセージをお話しください。

ビリョン　私たち訪問団を温かく津市に迎えていただき、あらためてお礼申し上げます。今後も津市を訪問し、両国の企業間連携を強めるとともに、皆さんにお会いできることを楽しみにしています。

市長　どうぞ日本でのすてきな時間をお過ごしください。本日はありがとうございました。

市長新春対談は津市ホームページ・市長の部屋の市長対談でもご覧いただけます。 HP 津市　市長対談 検索

新津市10年の歩み

平成18(2006)年1月1日、2市6町2村が合併し新しい津市が誕生してから、10年がたちます。10年間の津市での出来事と、これからの津市の歩みをご紹介します。

平成18年(2006年)

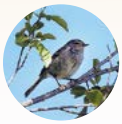
1月▶新「津市」開市式

2月▶新津市合併記念津シティマラソン
7月▶多気北畠氏城館跡が国史跡に指定
8月▶贄崎(にえざき)地区防災コミュニティセンターオープン
11月▶国立病院機構三重病院前へ休日応急・夜間こども応急クリニック移転開設

平成19年(2007年)

1月▶消費生活センター開所

3月▶公共下水道事業椋本処理区椋本浄化センター開設
4月▶地震防災マップ全戸配布
7月▶市の花・市の木・市の鳥決定



11月▶夜間成人応急診療所開設

平成20年(2008年)

4月▶総合計画スタート
7月▶一般国道163号新長野トンネル開通
8月▶吉田沙保里選手北京オリンピックで2連覇達成
9月▶まん中交流館オープン、市民オープンステージリニューアルオープン

▶吉田沙保里選手に津市民特別栄誉賞贈呈

平成24年(2012年)

3月▶椋本小学校・安西小学校・雲林院小学校閉校
4月▶芸濃小学校開校
5月▶津波避難協力ビル募集開始
7月▶新・市一志庁舎完成
▶沿岸地域標高マップ全戸配布
8月▶吉田沙保里選手ロンドンオリンピックで3連覇達成

10月▶吉田沙保里選手国民栄誉賞受賞
11月▶まん中老人福祉センター開設、障がい者相談支援センター移転

平成25年(2013年)

3月▶20年に1度の開催、市指定無形民俗文化財「香良洲神社のお木曳き行事」

4月▶消防高度救助隊発足
6月▶美杉地域で映画「WOOD JOB!(ウッジョブ！)～神去なあなあ日常～」ロケ

7月▶まん中こども館オープン
8月▶河芸マレットゴルフ場オープン
9月▶中央公民館移転オープン

平成26年(2014年)

3月▶バイオマス産業都市として認定
▶大井小学校・高岡小学校・波瀬小学校・川合小学校閉校
4月▶美杉総合文化センター、新・市美杉庁舎完成

▶伊勢奥津駅前観光案内交流施設オープン
▶一志東小学校・一志西小学校開校

9月▶西岡良仁選手アジア大会テニス男子シングルス優勝

平成21年（2009年）

2月▶市民歌「このまちが好きさ」制定
3月▶美杉東小学校・美杉南小学校閉校
4月▶空き家情報バンクの情報提供開始
▶美杉小学校開校
10月▶津市森林セラピー®基地グランドオープン

平成22年（2010年）

2月▶津なぎさまち開港５周年

3月▶太郎生小学校閉校
7月▶市民便利帳発刊
▶都市マスタープラン策定
8月▶自主防災協議会設立

平成23年（2011年）

4月▶デジタル同報系防災行政無線の運用開始
6月▶津波避難ビル募集開始
9月▶中央学校給食センター供用開始

▶ボートレース津外向発売所「津インクル」オープン
10月▶救急・健康相談ダイヤル24スタート
12月▶地域防災計画「津波避難編」策定

平成27年（2015年）

1月▶新斎場「いつくしみの杜（もり）」供用開始

▶市久居庁舎がポルタひさいへ移転
2月▶一般国道23号中勢バイパス津(野田～久居)工区開通
▶津なぎさまち開港10周年
4月▶児童発達支援センター「つぅぽっぽ」オープン
▶全天候型親子遊び空間「げいのう　わんぱーく」オープン

▶消防救急デジタル無線・高機能消防指令センター運用開始

7月▶久居中央スポーツ公園内プールリニューアルオープン
8月▶津商業高校甲子園初出場

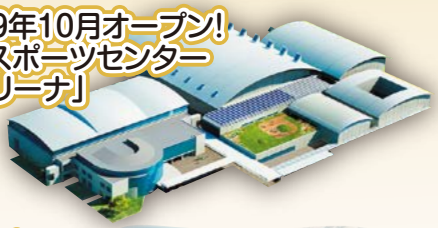
▶県道一志美杉線矢頭トンネル開通
10月▶地域懇談会スタート
▶津ぎょうざ小学校がB-1グランプリin十和田でブロンズグランプリ(3位)受賞
▶土砂災害避難施設・土砂災害避難協力施設募集開始

さらに未来へ

平成28年3月全線復活!
JR名松線

平成28年4月開駅!
道の駅津かわげ

平成28年4月
供用開始!
新最終処分場・
リサイクルセンター



平成29年10月オープン!
産業・スポーツセンター
「サオリーナ」

平成28年4月
供用開始!
防災物流施設

(仮称)
香良洲高台
防災公園整備中

津市の子どもたちのさらなる学力向上を目指して！

津市教育委員会

問い合わせ　教育研究支援課
☎229-3243　FAX229-3332

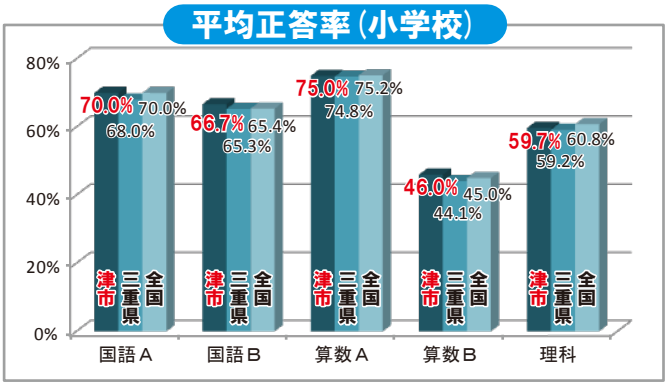
平成27年４月に全国学力・学習状況調査が実施され、津市の子どもたちには、小・中学校とも学力の向上が見られました。各学校での授業改善の取り組みなどが結果につながっており、今後もさらなる学力向上に向けて、学校・家庭・地域が連携し、それぞれが役割を果たしながら、子どもたちの学力を育んでいくことが大切です。

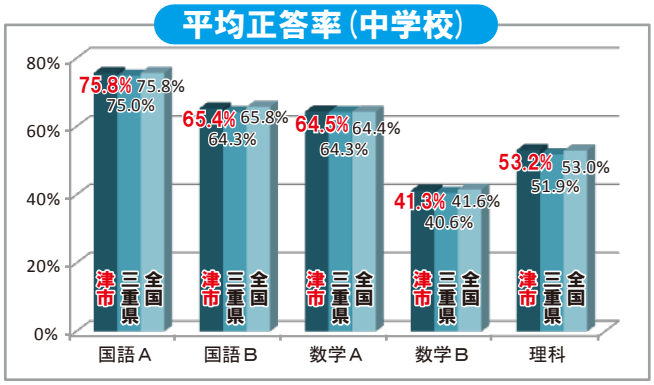
平成27年度全国学力・学習状況調査～津市の結果

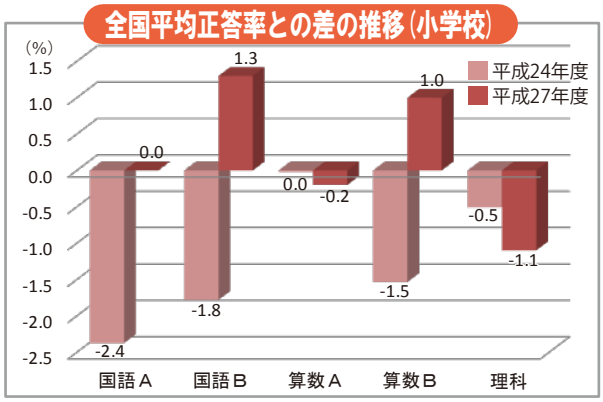
- **小・中学校とも全ての教科で三重県の平均正答率を上回る**
- **小・中学校合わせて6教科が全国平均正答率以上に**

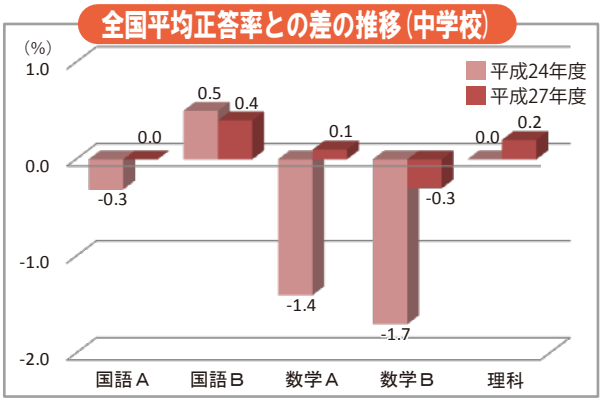
学力向上のために行ったこと

- 各学校での授業改善の取り組み(学習の見通しと振り返りの活動など)
- 子どもたちの学びを支える学校図書館司書やスクールカウンセラー、特別支援教育支援員などの配置









基礎的･基本的な知識や技能はおおむね身に付いている

昨年度課題になっていた「活用する力」も一定の改善

総合的な学力向上プラン

平成27年度全国学力・学習状況調査結果を踏まえ、子どもたちの学力をさらに向上させるために、次の４つの視点に重点を置き、取り組みを進めます。

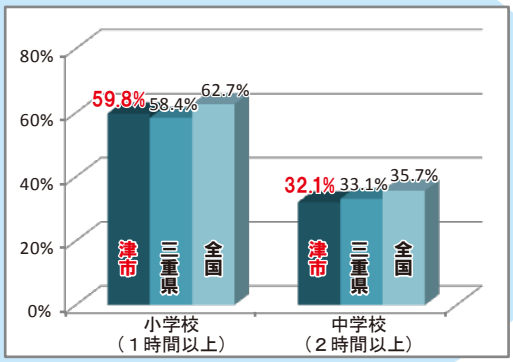
1. 授業改善のさらなる推進
2. 小中一貫教育の推進
3. 指導力向上に向けた教職員研修の推進
4. 家庭学習の充実に向けた取り組みの推進

全ての大人が、子どもの学びや育ちに関わろう！

学校　子どもたちが「わかった」「できた」を実感できる授業を目指します！

- 子どもたちに「学習のめあて」や学習課題の解決の見通しを持たせ、学んだ内容を振り返る活動を大切にします。
- 互いの意見や考えを大切にし、全ての子どもたちが安心して発表できる学級集団をつくります。
- 基本的な知識や技能が確実に定着するよう、授業と連動した「宿題」の提示や自主的な「予習・復習」の仕方について、家庭と連携して取り組みます。

学校の授業時間以外の
１日当たり（月～金曜日）の勉強時間

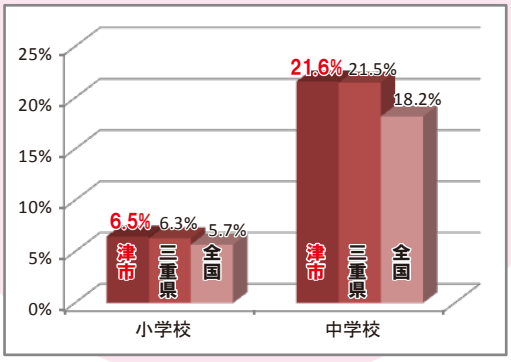


学校・家庭・地域で子どもたちの学びをサポート

家庭　子どもの頑張りを認め、励ましましょう！

- 自分で計画を立てて、進んで家庭学習ができるような場づくりをしましょう。
- メディアとの接触時間や携帯電話・スマートフォンの適正な使用など、発達段階に応じて家庭で話し合いましょう。

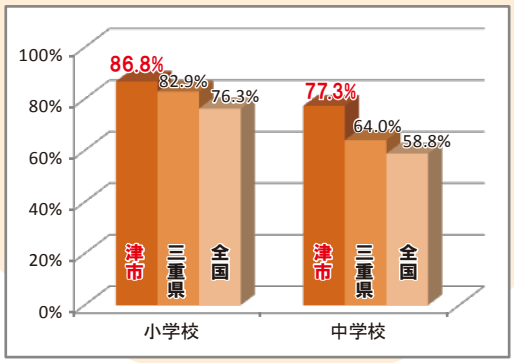
１日当たり（月～金曜日）３時間以上
携帯電話やスマートフォンで
通話やメール、インターネットをする



地域　子どもたちを地域で守り、地域で育てましょう！

- 登下校時などに、子どもの安全を引き続き見守りましょう。
- 補充学習などの支援ボランティアや読み聞かせボランティア、英語活動ボランティアなどに参加し、多様な学習機会を提供しましょう。
- 子どもたちに手本を見せましょう。

地域の人材を講師に招いて授業を行った



シロモチくんとゴーちゃんが語る津市政㉕

海岸堤防の工事ってどんなことをしているの？
～安全・安心のまちづくりを目指して～

現在の海岸堤防は、整備から約半世紀が経過し、ひび割れの発生や空洞化などが発見されるなど老朽化が進んでいます。また、堤防の高さ不足や大規模地震に伴う液状化が懸念されるため、高潮や耐震対策として抜本的かつ緊急的な整備が必要となっています。栗真町屋では、国の直轄事業として平成24年度から海岸堤防工事が始まり、堤防の改修が進められています。

ねえねえ、シロモチくん。どうして栗真町屋の海岸で堤防の工事が行われているの？

栗真町屋の堤防は昭和28年の台風13号と昭和34年の伊勢湾台風で大きな被害を受け、その後復旧されたんだけど、それから約50年がたって、堤防自体にひび割れが発生したり、内部に空洞が見つかるなど、老朽化が進んでいるため、造り替えているんだ。

とても古い堤防だったんだね。新しい堤防はどんな堤防になるの？

堤防の高さを今より高くしたり、大きな地震が起きた時でも堤防が壊れないようにしているんだよ。

へえ～、堤防の高さは何メートルになるの？

今の堤防の高さは一部で4.4メートルしかないところもあるんだ。そこで台風の時などに高い波が発生しても堤防を越えないように、新しい堤防の高さは６メートルになるんだよ。

６メートルの高さがあれば安心だね。それと、大きな地震が起きても堤防が壊れないようにするってどうするの？

大きな地震が起きると地盤の弱い部分が液状化を起こして、堤防自体が沈んでしまう可能性があるんだ。それを防ぐために地盤の調査をして、液状化しないように地盤の改良を行っているんだよ。

地盤改良ってどんなことをしているの？

硬く締め固めた砂杭を地中に打ち込んで地盤を改良しているんだ。この方法はサンドコンパクションパイル工法と言われていて、栗真町屋の堤防工事では、直径70センチメートル、長さ10メートルの砂杭を1.7メートル間隔で打ち込んで、堤防の下の地盤をより頑丈なものにしているんだよ。それに近くの住宅などにできるだけ影響がでないよう、杭を打ち込む作業には振動や騒音が少ないタイプの機械が使われているんだ。

地盤改良工事

目に見えない部分もきちんと考えられているんだね。他にも何か工夫されていることはあるの?

徹底した再資源化に取り組んでいるんだよ。例えば、古い堤防を壊したときに出たコンクリートを砕いたものを、新しい堤防で使うコンクリートの基礎材などに再利用しているんだ。そうすることで、古い堤防を取り壊したときの廃棄物がなくなり、ダンプトラックで運び出すことも必要なくなるんだよ。

環境にも配慮した工事が行われているんだね。

他にも白砂青松の海辺再生に向けた取り組みが行われているんだ。工事の影響で伐採された松林を再生するために、地元の小学生や自治会

が協力して、現地の松から種を採取して育てた苗木の植樹も予定しているんだよ。

大きく育って、きれいな松林になるのが楽しみだね。

そうだね。それと堤防近くの海岸でアカウミガメの産卵が確認されたのをきっかけに、環境団体や三重大学の学生サークル、国土交通省が協力して「子がめロード」を作るなど、アカウミガメの子ガメが海に帰る手助けも行っているんだよ。

アカウミガメが元気に戻ってきてくれるといいね。今、三重大学の近くで行われている堤防はいつ完成するの？

いよいよ今年４月に完成するんだ。堤防と一緒に工事をしている都市計画道路「河芸町島崎町線」の一部も完成して、車の通行ができるようになる予定だよ。

新しい堤防が完成すると便利になるんだね。

そうだね。頑丈な堤防が完成することで、近くの病院や学校、住宅地も安全になるし、新しく住宅や病院、企業が造られたりすることで地域の経済の活性化にもつながるんだよ。

堤防の整備が進むことでみんなが安全で安心して暮らせるんだね。堤防の完成が待ち遠しいね。

新しくなった栗真町屋堤防（写真撮影:三重大学付近）

改修前

改修後

津市長が平成27年市政の

1 つぅぽっぽ、げいのうわんぱーく オープン

４月１日、児童発達支援センター「つぅぽっぽ」、同月４日に全天候型親子遊び空間「げいのうわんぱーく」を開設

つぅぽっぽ（分部地内）

げいのう わんぱーく（芸濃町椋本地内）

旧櫛形幼稚園舎を改修。床面積が広くなり、施設機能が拡充

市芸濃庁舎の芝生広場を活用。子育て支援センターを併設

2 消防救急デジタル無線・高機能消防指令センター運用開始

４月１日より、消防救急無線をアナログ方式からデジタル方式へ移行し、県内初の運用開始。消防業務に必要な通信連絡体制を統制するデジタル無線システムと、119番を受け、出動車両の自動編成、出動指令を行う高度な情報通信システムを導入

消防指令センター（消防本部内）

5 職務経験者採用の職員15人入庁

新たに導入した採用制度により、４月１日付けで職務経験者採用の職員15人が入庁。即戦力として活躍し、複雑・多様化する行政ニーズへ対応

職務経験者採用の15人の職員

7 県道一志美杉線 矢頭トンネル開通

８月17日、県道一志美杉線の一志町波瀬から美杉町下之川を結ぶ全長1,637mの矢頭トンネルが開通。地域の活性化とともに、安全な通行、災害に強い道路機能を確保

開通した矢頭トンネル（美杉側坑口）

8 中勢バイパス津(野田～久居)工区開通

上空から見た津（久居）工区の様子

２月８日、中勢バイパスの津(野田)工区から津(久居)工区の7.9kmが開通。河芸町三行から木造町まで延長20.6kmを南北に貫く市内の大動脈を形成

3 いつくしみの杜（もり） 業務開始

４大プロジェクト事業の一つである新斎場「いつくしみの杜」が１月２日から業務開始

いつくしみの杜（半田地内）

4 地域懇談会スタート

10月１日から地域懇談会をスタート(市内37地区で開催)。「即答・即応し実現する市役所」として、地域の課題や望みを直接伺い、その解決に向けて前進

地域懇談会の様子

6 市久居庁舎 ポルタひさいへ移転

久居総合支所1階フロア

広くなった久居保健センター

１月１日、市久居庁舎をポルタひさいへ移転し、久居総合支所、久居保健センター、津南工事事務所の市民サービス機能を集約。市民が利用しやすい施設として、ワンストップサービス機能を充実

9 久居中央スポーツ公園内プール リニューアルオープン

施設の老朽化が進んでいた久居中央スポーツ公園内プールを改修し、７月11日にリニューアルオープン。リニューアル後の入場者数は合併後最大

リニューアルしたウォータースライダー

10 「津ぎょうざ小学校」B-1 グランプリ3位入賞

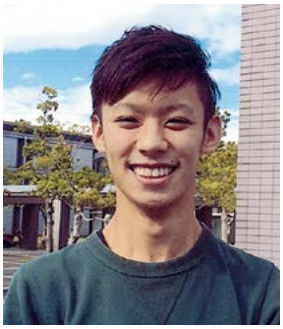
10月３日・４日、青森県十和田市で開催されたB-１グランプリ第10回大会で「津ぎょうざ小学校」が３位入賞。津ぎょうざを通じた地域おこしに期待

3位入賞を喜ぶ「津ぎょうざ小学校」の皆さん

新春 市民インタビュー

中橋 明日海さん
久居中町

私は将来アナウンサーを目指しています。これからもいろいろな事に挑戦し、知識や経験を豊かにして夢をかなえられるように頑張りたいです。



五嶋 了脩さん
香良洲町

看護師になるため三重県立看護大学に通っています。大学で学んだことを生かし、最善の看護を行い、みんなに愛される看護師になりたいです。

磯田 有也さん
一志町庄村

今年で消防団に入団して16年目。社会生活において大きく成長させていただきました。これからも元気で明るい地域を目指して頑張ります。

鈴木 有子さん
安濃町戸島

楽しくやりがいのある仕事に巡り合えたことは全ての人に感謝しています。無理せず現状に満足せず、生涯現役、今のままでありたいです。

山内 節子さん
美杉町石名原

子どもたちも自立して、今は夫と２人暮らしです。いろいろなことがありましたが、これからは健康に気を付けて、笑顔でいられたらと思います。

柴田 隆行さん
芸濃町楠原

今まで出会えた人たちへの感謝の気持ちを忘れずに、これから出会う人たちの支えになれるよう、誠実に自分らしい道を歩みたいです。

鈴村 耕平さん
河芸町浜田

私は今年大学４年生です。学生時代の経験を大切にし、より愛着のある地元を盛り上げ、発信できるような道に進みたいと思っています。

杉本 楓莉さん
美里町北長野

美里子ども劇団で、人権の大切さを伝える活動をしています。人とのつながりを大切にし、お互いの思いを尊重していきたいです。

三田 尚美さん
白塚町

これからも健康で、家族や周りの人に感謝の気持ちを忘れず、今までと同じように仕事に励み、プライベートも充実させたいと思います。

松本 太さん
白山町川口

年を取り、腰痛を患い体が思うように動きません。まずは健康な体を取り戻し、自分にできるボランティア活動に携わってみたいです。

新 津市が誕生して10年。これまで津市は一歩一歩着実な歩みを進めてきました。これからも輝く未来に向け、市民の皆さんとともに歩んでいきたい――。そこで、皆さんにとっての「これから歩みたい自分の道」をお聞きしました。

瀧川 景嗣さん
美杉町竹原

私は将来、学校の先生になりたいと考えています。また、生まれ育った美杉地域の土地や周りの人に感謝し、これからは恩返しがしたいです。

野間 拓美さん
白山町川口

一日一日を大切に、家族みんなで笑って暮らしていきたいです。２歳の息子が大きくなったら、少林寺拳法とバドミントンを一緒に習いたいです。

石田 紅葉さん
一志町高野

私には目標があります。それは水泳のインターハイで１年生から決勝に残り、３年生で優勝することです。さらに努力してこの目標を達成します。

矢野 恵三さん
寿町

津と中部国際空港を結ぶ高速船を運転しています。伊勢志摩サミットを５月に控え、これからも多くの皆さんに利用していただけるよう、安全に努めます。

小林 美好さん
安濃町草生

そば打ちの出会いを大切に、人と人のつながりも大切に、公民館講座生が楽しくおいしいそばを打てるよう指導できればと願っています。

奥野 志織さん
香良洲町

これからも自分らしく妥協しない人生を歩んでいき、たくさんの人たちと関わり、自分の個性を生かせる仕事を続けていきたいです。

瀬古 麻夕美さん
河芸町上野

仕事でたくさんの人と出会う中で、地域との関わりについて考える事がありました。私は地域のためにできることを考えていきたいです。

飯田 脩平さん
美里町家所

自転車で山道を走るのはとても楽しいです。大人になっても、自転車とトンボ捕りは続け、クロスジギンヤンマやルリボシヤンマを捕りたいです。

山田 次男さん
久居西鷹跡町

私は公民館の男の料理教室と絵画教室に参加しています。地域の人たちとの触れ合いを大切にし、心身ともに健康で、人との和を大事にしていきたいです。

犬飼 早苗さん
芸濃町林

愛する芸濃地域から、人との出会いの大切さに感謝しながら、次世代の子どもたちに自信を持ってバトンを渡せるよう、一歩ずつ歩んでいきたいです。

みんなの情報掲示板

お知らせ

三重おもいやり駐車場利用証制度 妊産婦の有効期限延長

妊産婦の安定期前の母体保護と産後の乳幼児との外出を支援するため、三重おもいやり駐車場利用証制度の妊産婦の有効期限を「母子健康手帳取得時から産後1年6カ月」に延長しました。利用証を持っている人は、津保健所窓口または郵送で有効期限延長の手続きができます。ただし、有効期限が切れている人は再申請してください。また、事業者の皆さんは、おもいやり駐車区画の新規登録や増設にご協力をお願いします。

問県地域福祉課(☎224-3349)

募　集

特定公共賃貸住宅入居者

居住環境が良好な賃貸住宅として三重県が提供するファミリー世帯向けの住宅に住みませんか。民間賃貸住宅とは異なる入居者資格がありますので詳しくはお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

場サンシャイン千里(河芸町千里ヶ丘)

申１月５日(火)～31日(日)に所定の申込用紙に必要事項を記入し、郵送で伊賀南部不動産事業協同組合(〒514-0008 上浜町一丁目5-1 エトアール津102)へ　※消印有効

問同協同組合(☎221-6171)

HP e-すまい三重　検索

第４回ノルディックウオーキング競技会

日３月13日(日)９時30分～15時　場レークサイド君ケ野(ＪＲ名松線を利用する人は伊勢竹原駅から送迎あり)　内君ヶ野ダム湖畔コースのノルディックウオーキング　定先100人　費1,500円(昼食、保険代を含む)

申１月８日(金)～22日(金)に津市森林セラピー基地運営協議会事務局(美杉総合支所地域振興課内、☎272-8082)へ

津市青少年野外活動センター 平成28年度分の宿泊受け付け

日１月15日(金)９時30分～　※８時30分～９時15分に整理券を配布　場同センター(神戸)　内整理券の順に抽選して受け付け順を決定(ただし宿泊日数などを優先)、以降は先着順　※４月分の日帰り利用は１月20日(水)から受け付け、５月以降は３カ月前から受け付け　対青少年団体

問同センター(☎228-4025)

津市民スポーツ健康教室 ハンドボール教室

日１月31日(日)13時～17時　場津市体育館　対市内に在住・在学の高校生　定先60人　費600円

申１月６日(水)～22日(金)に直接津市体育館窓口へ

問津市スポーツ協会(☎273-5522)

津市民スポーツ健康教室 フェンシング&レスリング体験教室

日２月６日(土)９時～12時　場津市体育館　対市内に在住・在学の小・中学生　定抽60人　費600円

申１月６日(水)～29日(金)に直接津市体育館窓口へ

問津市スポーツ協会(☎273-5522)

スコーレ家庭教育講座 子どものやる気を引き出し夢を育てる

日２月４日(木)10時～11時30分　場県生涯学習センター４階中研修室(県総合文化センター内)　対子育て中の保護者　定50人　費300円　※託児あり(定15人、費１人500円)

申スコーレ東海事務所(☎058-231-8892)へ

平成28年度松阪高校通信制課程入試

日試験日３月10日(木)　場同校(松阪市)　内面接、作文

申２月24日(水)～26日(金)９時～16時(26日は12時まで)に同校入試窓口へ　※受験する人は1月31日(日)14時～15時30分に同校で行う説明会への参加が必要です。１週間前までに電話(☎0598-30-5300)で予約してください。

参加者募集!! 津市民体育大会

対市内に在住・在勤・在学の人

申津市スポーツ協会にある申込用紙に必要事項を記入し、直接窓口または郵送、ファクスで同協会(〒514-0027 大門６-15、FAX273-5588)へ　※参加費など詳しくは、同協会にお問い合わせいただくか、同協会ホームページをご覧ください。

問同協会(☎273-5522)

種　目	と　き	ところ	対　象	定　員	申込期間
ハンドボール	１月31日(日)	津市体育館	30歳以上の男女	先着各５チーム	１月８日(金)～22日(金)
フットサル	２月13日(土)	津市体育館	高校生以上	24チーム	１月５日(火)～22日(金)
サッカー	３月12日(土)・13日(日)	香良洲サッカー場 香良洲グラウンド	小学４～６年生	24チーム	１月５日(火)～22日(金)

健　康

中勢伊賀地域認知症疾患医療センター研修会

日１月21日(木)14時～16時　場芸濃総合文化センター市民ホール　内松本一生さん(松本診療所院長)による講演「認知症の人と生きる家族のこころを理解する」　対市内に在住・在勤の人　定430人
申県立こころの医療センター医療福祉グループ(☎235-2125)へ

第２回県民健康公開講座

日１月24日(日)13時30分～15時　場三重県鍼灸(しんきゅう)会館２階(栄町二丁目)　内井上正康さん(健康科学研究所所長)による講演「究極の血管ほぐし健康法」　対県内に在住の人
問三重県鍼灸マッサージ師会(☎246-7427)

転倒予防教室

日１月28日(木)10時～11時30分　場津センターパレス地下１階市民オープンステージ　内講話「寒さに負けないからだづくり」と転倒予防体操　※要約筆記あり　対市内に在住の60歳以上の人　定80人
問津市社会福祉協議会津支部(☎213-7111)

第９回市民公開講座「知ってほしい がんと向き合う栄養とリハビリ」

日３月５日(土)13時～16時(12時開場)　場県文化会館中ホール(県総合文化センター内)　内講演とパネルディスカッション　定950人
申２月19日(金)までに、はがき、またはファクス、Ｅメールで郵便番号、住所、氏名、電話番号、参加人数を三重大学医学部付属病院がんセンター(〒514-8507 江戸橋二丁目174、FAX231-5348　✉gan-center@mo.medic.mie-u.ac.jp)へ
問同センター(☎231-5055)

募集しています！推薦してください！

津市農業委員会委員
津市農地利用最適化推進委員

対　象　農業に関する知識を持っている人で原則、市内に住所を有し、現在居住している人
任　期　津市農業委員会委員…４月１日から３年間、津市農地利用最適化推進委員…委嘱した日から平成31年３月31日まで
定　員　津市農業委員会委員…24人(このうち２人は農業委員会の業務に利害関係のない人を募集)、津市農地利用最適化推進委員…86人　※各地区の定数など詳しくは、津市ホームページをご覧ください。
報　酬　条例に基づき支給
申し込み　農業委員会事務局または各総合支所地域振興課、各出張所窓口にある所定の応募用紙に必要事項を記入し、押印の上、直接同事務局または各総合支所地域振興課、各出張所窓口へ
※応募用紙は津市ホームページからもダウンロードできます。
締め切り　１月29日(金)

問い合わせ　農業委員会事務局　☎229-3176　FAX229-3168

無料相談コーナー

司法書士による法律相談

日１月27日(水)13時30分～16時30分　場津リージョンプラザ２階健康教室　内相続、多重債務、金銭問題など　定先８人
申１月19日(火)８時30分から電話で地域連携課(☎229-3105)へ

消費生活相談

日毎週月曜～金曜日９時～12時、13時～16時(祝･休日、年末年始を除く)　場市本庁舎１階市民交流課内　内消費生活相談員による商品の購入やサービス利用などのトラブルに関する相談(電話相談も可)
問津市消費生活センター(☎229-3313)

法的な困りごとは法テラスへ

日毎週月曜～金曜日９時～21時、土曜日９時～17時(祝･休日、年末年始を除く)　内法的トラブルの解決に役立つ法制度や相談窓口の情報提供
問法テラスコールセンター(法的トラブル…☎0570-078374、犯罪被害者相談…☎0570-079714)

カウンセラーによる相談(面談・電話相談)
専用電話☎229-3120

とき(毎月)	内　容
第１～４火曜日 13時～18時	面談・電話相談(予約優先)
第３金曜日 18時～20時	電話相談(予約優先)

※祝･休日、年末年始を除く
内夫婦・親子の関係、生き方の問題など
問上記以外の時間は男女共同参画室(☎229-3103)

広報津
●毎月1日・16日発行
●編集・発行 津市政策財務部広報課 〒514-8611 西丸之内23-1
☎229-3111 FAX229-3339
●印刷 寿印刷工業株式会社

市長コラム

津市の未来のために「もっとできること」始めます

津市長 前葉 泰幸

謹んで新春のお喜びを申し上げます。

津市は合併10周年を迎えました。この春、新最終処分場とリサイクルセンターが完成し、JR名松線が全線復旧します。新・津市を構成する10市町村が地域の課題を持ち寄り、合併後10年を目途に実現を目指した事業については、ほぼ目標どおりの成果をお届けできました。これは、市民の皆さまの津市政へのご理解とご協力のたまものです。

これからの10年、一つになった津市は、さらなる高みを目指して「もっとできること」への新たな取り組みを開始します。

平成28年4月供用を開始する新最終処分場

市民生活のご不便を解消し、安心してご利用いただけるよう、道路、堤防、下水道など社会基盤の整備を進めます。津駅北の大谷踏切の拡幅事業に着手したのに続き、通称近鉄道路の津興橋の架け替えを決定しました。

老朽化が進む津興橋

未来を担う子どもたちのための施策には、これまで以上に力を入れてまいります。小中学校の普通教室へのエアコン設置を５年後までに全て完了させます。

健全財政を維持しながら新たな事業の展開を図ることができるよう、財政運営の工夫を重ねてまいります。将来の地方債の償還に充てるため減債基金への積み立てを再開したほか、モーターボート競走の収益金の一般会計への繰り出しを来年度、12年ぶりに復活させ、市民の暮らしのために活用できるようにします。

市民生活の充実と津市経済の活性化のため、津市職員一丸となって新たな挑戦にしっかり取り組んでまいります。

「ＴＶ版市長コラム」では、前葉市長がこのテーマを語ります　HP 津市長コラム 検索

市長活動日記から

■第1回三重メディカルラリー2015(消防本部・三重中央医療センター付属三重中央看護学校)…11月14日

メディカルラリーとは医師、看護師、救急救命士がチームを編成し、仮想の災害救急現場において模擬患者を診察し、制限時間内に処置を施す技術と知識を競う大会です。

三重大学医学部付属病院の今井寛救命救急センター長の呼び掛けで、三重県初の開催となり、県内14の病院と11の消防本部・組合から15チーム(90人)が参加しました。津市消防本部と医療機関とが気持ちをつなぎ、さらに連携を強化し、病院前救護のスキルアップにつながることを期待しています。

■各省庁への要望活動…11月10日・11日・18日

国の平成28年度予算について、三重県選出国会議員、各省庁に対し、要望活動を行いました。

三重県漁港漁場協会会長として…農林水産省・水産庁に漁港の防災・減災対策、施設の長寿命化、漁場の整備、水産資源の回復など

中勢バイパス建設促進期成同盟会副会長として…国土交通省に一般国道23号「中勢バイパス」の早期全線供用開始など

中部国道協会副会長として…国土交通省・財務省に新名神高速道路、東海環状自動車道の早期整備など

■津市総合防災訓練(河芸第2グラウンドおよびその周辺)…11月22日

津市総合防災訓練のキーワードは、「勢ぞろい」「総参加」です。今回の訓練には、自主防災協議会、消防、自衛隊、警察、病院など53機関から約900人に加え、土曜授業の一環として、初めて地元の朝陽中学校の生徒約600人にも参加いただきました。南海トラフを震源とする大地震の発生を想定し、総勢約1,500人が本番さながらに訓練に取り組みました。今後も訓練の積み重ねによる防災意識の向上と、若い世代の訓練参加を得て、未来の防災リーダーの育成につなげることを目指します。

「市長活動日記」は津市ホームページでご覧になれます　HP 津市長活動日記 検索